

hp

mp3130 シリーズ
digital projector



ユーザーズガイド

ご注意

本書とそれに収録されているすべての例は、「現状のまま」で提供されており、予告なしに変更される可能性があります。ヒューレット・パッカード社は、商品性および特定目的に対する適合性についての暗黙の保証を含め、またこれに限定されることなく、本書についての保証は一切行いません。ヒューレット・パッカード社は、本書の記載の誤り、あるいは本書または記載例の利用にともなって生じる偶発的、間接的損害に関して責任を負いません。

オーストラリアおよび英国における消費者取引: 上記の免責事項および制限は、オーストラリアおよび英国における消費者取引には該当せず、消費者の法的権利に影響しません。

© Copyright 2003, 2004 Hewlett-Packard Development Company, LP. 著作権法で許可されている場合を除いて、ヒューレット・パッカード社の事前の書面による許可なく本書の複製、翻案、翻訳を行うことは禁止されています。

本製品を制御するプログラムは著作権で保護されています。
ヒューレット・パッカード社の事前の書面による許可なくこれらのプログラムを複製、翻案、翻訳することも禁止されています。

Microsoft®およびWindows®は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

Adobe®およびAcrobat®は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

Hewlett-Packard Company
Digital Projection and Imaging
1000 NE Circle Blvd.
Corvallis, OR 97330

第1版(2003年8月)

第2版(2004年12月)

1 セットアップ

内容物	8
主な機能の説明	9
プロジェクタ全体図	10
プロジェクタのボタンとライト	11
バックパネル	12
リモコン	13
アクセサリ	15
プロジェクタのセットアップ	16
プロジェクタの位置を決めるには	17
卓上に設置するには	19
電源を接続するには	19
コンピュータを接続するには	20
携帯端末を接続するには	22
ビデオソースを接続するには	23
電源のオン/オフ	27
プロジェクタの電源をオンにするには	27
プロジェクタの電源をオフにするには	28
プロジェクタをリセットするには	28
基本調整	29
プロジェクタの投影位置を調整するには	29
焦点とズームを調整するには	30

2 プレゼンテーション

リモコンを使用する	31
プレゼンテーションの表示	33
コンピュータからプレゼンテーションを行うには	33
ソースを変更するには	34
画面を非表示にしたり再表示したりするには	34

3 プロジェクタの調整

画像とサウンドの調整	35
画像の形を調整するには	35
画像の種類に応じて投影画像を調整するには	36
その他の画像設定を調整するには	37
オーディオを調整するには	37
プロジェクタのセットアップを調整するには	37
オンスクリーンメニューの使用法	38
設定を変更するにはオンスクリーンメニューを使います。	39
クイックセレクトメニュー	40
入力メニュー	41
画像調整メニュー	42
オーディオメニュー	44
セットアップメニュー	44
ヘルプメニュー	45

4 プロジェクタのメンテナンス

日常のメンテナンス	47
プロジェクタのステータスを見るには	47
プロジェクタのレンズを清掃するには	47
ランプモジュールを交換するには	48
リモコンの電池を交換するには	50
プロジェクタのアップグレード	51
ファームウェアをアップデートするには	51

5 プロジェクタの設置

プロジェクタの設置方法	53
プロジェクタを三脚に設置するには	53
卓上に設置するには	54
天井に設置するには	55
背面投影用に設置するには	56
プロジェクタをロックするには	57

6 問題の解決

トラブルシューティングのヒント	59
始動時の問題	60
画像の問題	61
音声の問題	65
停止の問題	65
リモコンの問題	66
プロジェクトのテスト	67
プロジェクト診断テストを実行するには	67

7 リファレンス

仕様	69
安全情報	75
安全上の注意	75
レーザの安全性	75
LEDの安全性	76
水銀の安全性	76
規制情報	77
日本	77
国際	78

索引

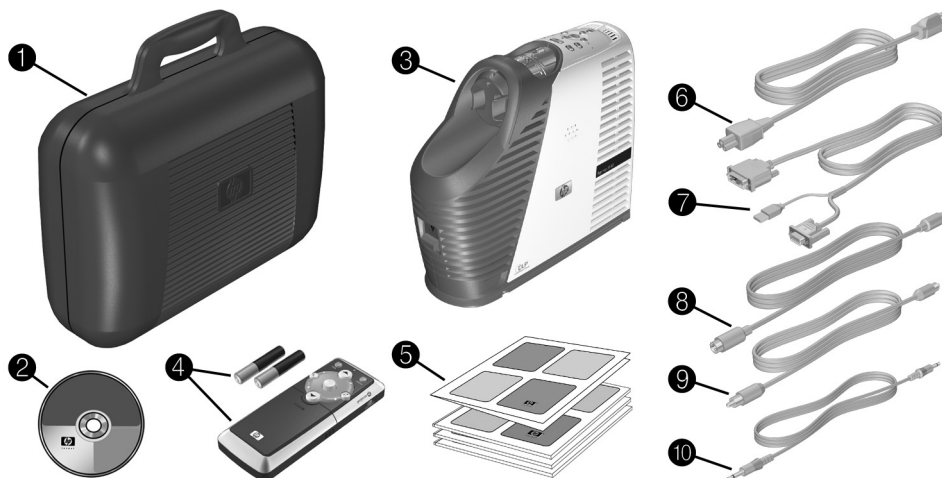
セットアップ

この章では、HPデジタルプロジェクタの設置とセットアップ方法について説明します。

- 「内容物」 8ページ
- 「主な機能の説明」 9ページ
- 「プロジェクタのセットアップ」 16ページ
- 「電源のオン/オフ」 27ページ
- 「基本調整」 29ページ

内容物

プロジェクタをセットアップする前に、梱包ケースに以下の品目が入っていることを確認してください。以下のいずれかの品目が不足している場合は、HPまでご連絡ください。



内容物の説明

番号	名称	機能
①	キャリングケース	プロジェクタの携帯および保護用
②	ドキュメンテーションCD	プロジェクタのドキュメント類を収録しています。
③	プロジェクタ(レンズキャップ付き)	画像を表示します。
④	リモコンと単三電池2個	プロジェクタを操作します。
⑤	クイックセットアップガイド、保証、サポート、およびポート使用説明書	プロジェクタを初めて使用する時の手順とサポート情報について説明します。
⑥	電源コード	プロジェクタを電源に接続します。
⑦	M1-VGA/USBケーブル	コンピュータに接続します。
⑧	Sビデオケーブル	Sビデオデバイスに接続します。

内容物の説明 (続き)

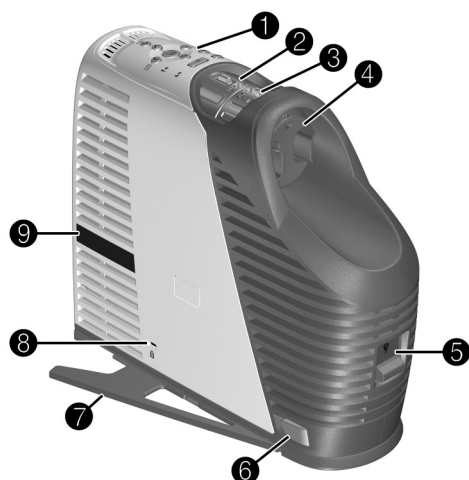
番号	名称	機能
⑨	コンポジットRCAビデオケーブル	RCAコンポジットビデオ出力付きのデバイスに接続します。
⑩	ミニプラグオーディオケーブル	オーディオソースをプロジェクタに接続します。

主な機能の説明

このセクションでは、プロジェクタの一般的な機能について説明します。

- 「プロジェクタ全体図」 10ページ
- 「プロジェクタのボタンとライト」 11ページ
- 「バックパネル」 12ページ
- 「リモコン」 13ページ
- 「アクセサリ」 15ページ

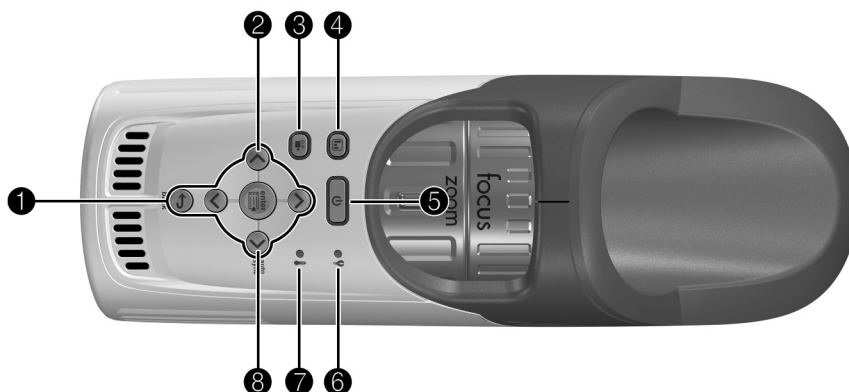
プロジェクタ全体図



プロジェクタの各部分の説明

番号	名称	機能
①	ボタンパネル	ボタンとライトが配置されています。
②	Zoom ring (ズームリング)	画像のサイズを100%~120%の範囲で拡大します。
③	Focus ring (フォーカスリング)	1.2 ~12 mの範囲で焦点を調節します。
④	レンズカバー	レンズを保護します。
⑤	ランブラッチ	交換時などに、ラッチを押してランプケースを外します。
⑥	チルトボタン	画像の高さを調節したり、支柱を引き出したりします。
⑦	支柱	プロジェクタの位置を固定します。
⑧	セキュリティスロット	ケーブルロックを使ってプロジェクタを固定します。
⑨	リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します(両側に1つずつあります)。

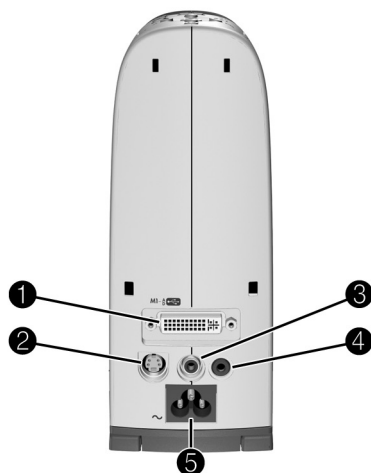
プロジェクタのボタンとライト



プロジェクタのボタンとライトの説明

番号	名称	機能
①	入力ボタン、Back(バック)ボタン、矢印ボタン	オンスクリーンメニューを使ってプロジェクタの設定を変更します。
②	Source(ソース)ボタン	次の入力ソースに切り替えます。
③	シアタービデオボタン	ビデオ入力に合わせて画像を最適化します。
④	ビジネスグラフィックスボタン	データ入力に合わせて画像を最適化します。
⑤	電源ボタン	プロジェクタの電源をオン/オフします。
⑥	ランプ警告ライト	ランプが切れたときに点灯します。
⑦	温度警告ライト	内部温度が高くなりすぎたときに点灯します。
⑧	aut-sync(自動同期)ボタン	プロジェクタを入力信号に再同期させます。

バックパネル



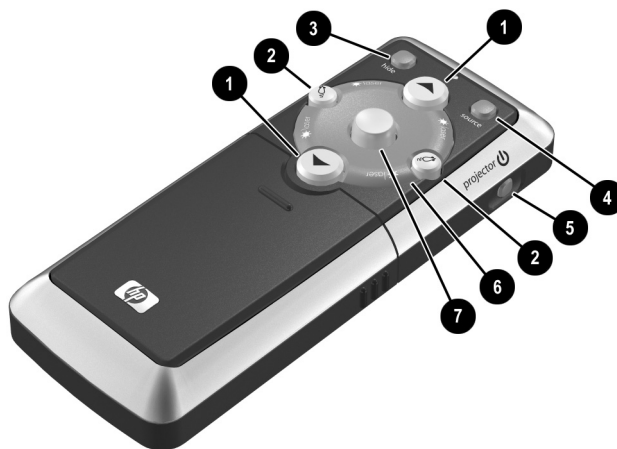
バックパネルの説明

番号	名称	機能
①	M1入力	コンピュータなど、アナログおよびデジタルビデオ出力を持つさまざまな機器を接続します。マウス制御用のUSBデバイス出力もサポートします。
②	Sビデオ入力	ビデオデッキやDVDプレーヤなどのビデオ入力を接続します。
③	コンポジットビデオ入力	ビデオデッキなどのビデオ入力を接続します。
④	オーディオ入力	オーディオソースを接続します。
⑤	主電源	プロジェクタの電源コードを接続します。

リモコン



リモコンを使用する前に、単4電池2個を装着してください。50ページの「リモコンの電池を交換するには」を参照してください。

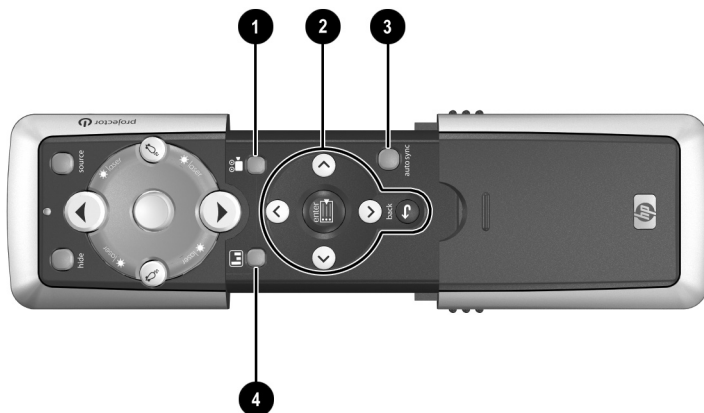


リモコンの説明(ケースを閉じた状態)

番号	名称	機能
①	ページアップ、ページダウン	接続したコンピュータのページを上下にスクロールします。
②	マウス左クリックおよび右クリック機能	接続したコンピュータの左クリックおよび右クリック機能を実行します。
③	hide(非表示)	画面を非表示にします。
④	source(ソース)	次の入力ソースに切り替えます。
⑤	電源	プロジェクタの電源をオン/オフします。
⑥	レーザリング	レーザポインタをオンにします。
⑦	マウスボタン	接続したコンピュータのマウスポインタを動かします。



警告: 目の損傷を避けるため、リモコンのレーザー光を直接のぞき込んだり、レーザー光線を人の目に向けたりしないでください。



リモコンの説明(ケースを開いた状態)

番号	名称	機能
①	シアタービデオボタン	ビデオ入力に合わせて画像を最適化します。
②	メニューボタン	オンスクリーンメニューを使ってプロジェクタ設定を変更します。
③	auto-sync(自動同期)	プロジェクタを入力信号に再同期させます。
④	ビジネスグラフィックスボタン	データ入力に合わせて画像を最適化します。

アクセサリ

HPではお使いのHPプロジェクタをより効果的にお使いいただくためのアクセサリを用意しています。以下のアクセサリのご購入については、プロジェクタの販売店にお問い合わせになるか、<http://www.hp.com/jp> をご覧ください。

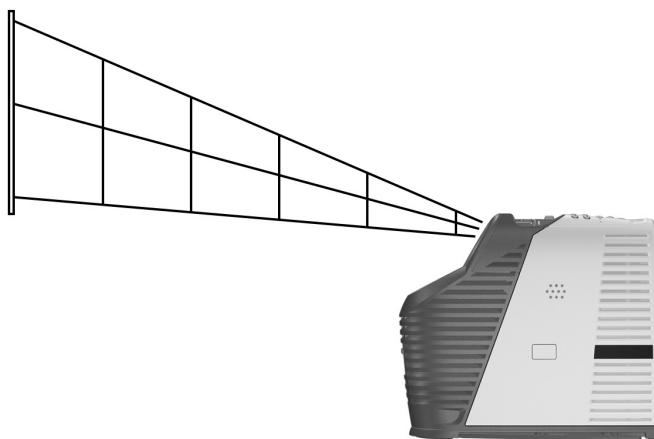
- スマート接続モジュール(コンピュータをローカルネットワーク経由で接続。オプションの802.11b カードでコンピュータとのワイヤレス接続などが可能)
- 天井取付け器具
- プロジェクタスクリーン
- 電源ケーブル
- 交換用ランプモジュール
- ビデオケーブル

プロジェクタのセットアップ

このセクションでは、プロジェクタのセットアップ方法、設置プランの立て方および接続方法について説明します。

- 「プロジェクタの位置を決めるには」 17ページ
- 「卓上に設置するには」 19ページ
- 「電源を接続するには」 19ページ
- 「コンピュータを接続するには」 20ページ
- 「携帯端末を接続するには」 22ページ
- 「ビデオソースを接続するには」 23ページ

プロジェクタの位置を決めるには



以下の表に、スクリーンとの距離に応じたプロジェクタの配置場所について示します。

画像サイズとスクリーンからの距離の対応表

画像サイズ(対角線)		画像サイズ(幅)		距離(レンズとスクリーン間)	
30 in.	0.8 m	24 in.	0.6 m	47–48 in.	1.2 m
40 in.	1.0 m	32 in.	0.8 m	54–65 in.	1.4–1.6 m
60 in.	1.5 m	48 in.	1.2 m	81–97 in.	2.1–2.5 m
80 in.	2.0 m	64 in.	1.6 m	108–129 in.	2.7–3.3 m
100 in.	2.5 m	80 in.	2.0 m	135–161 in.	3.4–4.1 m
120 in.	3.0 m	96 in.	2.4 m	161–194 in.	4.1–4.9 m
150 in.	3.8 m	120 in.	3.0 m	202–242 in.	5.1–6.2 m
180 in.	4.6 m	144 in.	3.7 m	242–291 in.	6.2–7.4 m
200 in.	5.1 m	160 in.	4.1 m	269–323 in.	6.8–8.2 m
240 in.	6.1 m	192 in.	4.9 m	323–388 in.	8.2–9.8 m
270 in.	6.9 m	216 in.	5.5 m	363–436 in.	9.2–11.1 m
300 in.	7.6 m	240 in.	6.1 m	404–480 in.	10.3–12.0 m
330 in.	8.4 m	264 in.	6.7 m	444–480 in.	11.3–12.0 m

この距離の表以外にも、以下の式を使用して、スクリーンの位置に応じたプロジェクタの設置場所を決めることができます。

投影距離の計算方法

レンズからスクリーンまでの距離 = $A \times$ スクリーンの幅

スクリーンからの最少/最大距離 = B

スクリーンの幅 = $0.8 \times$ スクリーンの対角線長(4:3スクリーンの場合)

プロジェクタのレンズがスクリーン下端よりも低い場合 =

$C \times$ スクリーンの幅(4:3スクリーンの場合)

$A = 1.67 \sim 2.00$

$B = 1.2 \sim 12 \text{ m}$

$C = 0.21 \sim 0.45$

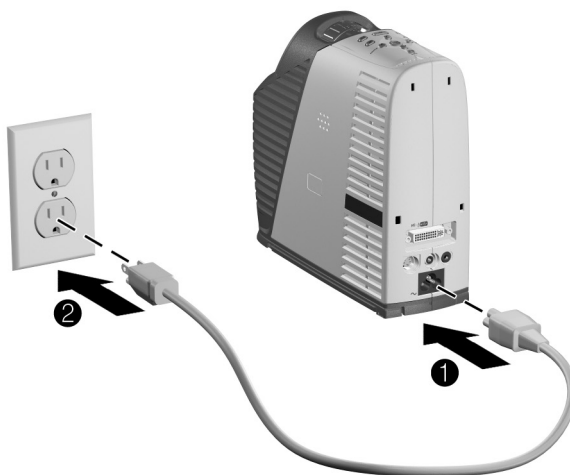
卓上に設置するには

1. スクリーンの前面から1.2～12 m離れた位置にある安定した台の上にプロジェクタを置きます。プロジェクタを置く台は、スクリーン下端よりも低い位置が理想的です。
2. 電源コードの一方の端をプロジェクタの背面に接続し、もう一方の端を電源コンセントに差し込みます。
3. 最初にプロジェクタの電源を入れるとき、必要ならば設置方法に合わせてプロジェクタを設定します。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ> プロジェクターの配置**を選択します。次に、ドロップダウンリストから**スクリーン正面**を選択します。これがデフォルト設定です。

プロジェクタを天井やスクリーン背面に設置する場合は、53ページの「プロジェクタの設置方法」を参照してください。

電源を接続するには

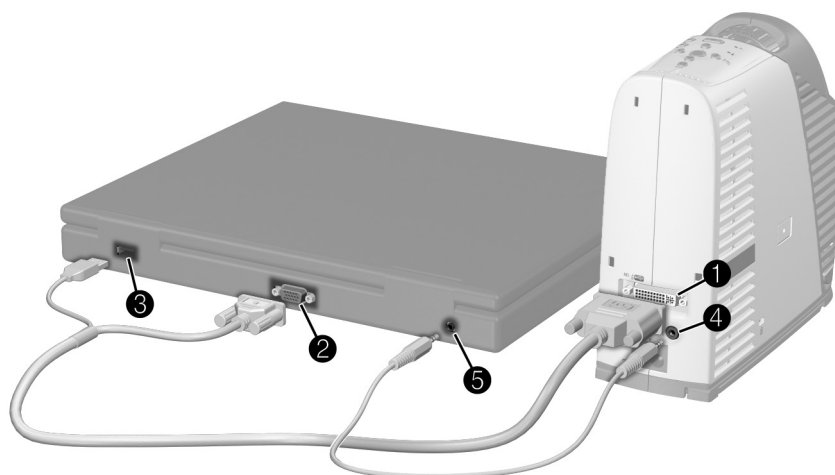
- 電源コードの一方の端をプロジェクタの背面①に接続し、もう一方の端を電源コンセント②に差し込みます。



コンピュータを接続するには

VGAポート付きのコンピュータ

1. プロジェクタのM1ポート**①**とコンピュータのVGAポート**②**をM1-VGA/USBケーブルで接続します。
2. (オプション)リモコンをコンピュータのマウスとして使用するには、M1-VGA/USBケーブルのUSBプラグをコンピュータのUSBポート**③**に接続します。
3. (オプション)オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート**④**とコンピュータ**⑤**をミニプラグオーディオケーブルで接続します。



DVIポート付きのコンピュータ

接続方法はVGAポート付きのコンピュータと同じです。説明図については、前ページの図を参照してください。

1. プロジェクタのM1ポート①とコンピュータのDVIポート②をM1-DVI/USBケーブル(HPから入手可能)で接続します。
2. (オプション)リモコンをコンピュータのマウスとして使用するには、M1-DVI/USBケーブルのUSBプラグをコンピュータのUSBポート③に接続します。
3. (オプション)オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート④とコンピュータ⑤をミニプラグオーディオケーブルで接続します。

携帯端末を接続するには

1. 携帯端末にVGA出力ポートがあることを確認してください。必要ならば、VGA出力アクセサリカードを携帯端末に装着します。



端末端末によってはVGA出力ポートを持たないものがあります。例えば、iPAQ Pocket PCの場合、15ピンコネクタを持つVGA出力PCカードが必要です。

2. プロジェクタの M1 ポート **①** と携帯端末の VGA 出力 PC カードのコネクタ **②** を M1-VGA/USBケーブルで接続します。

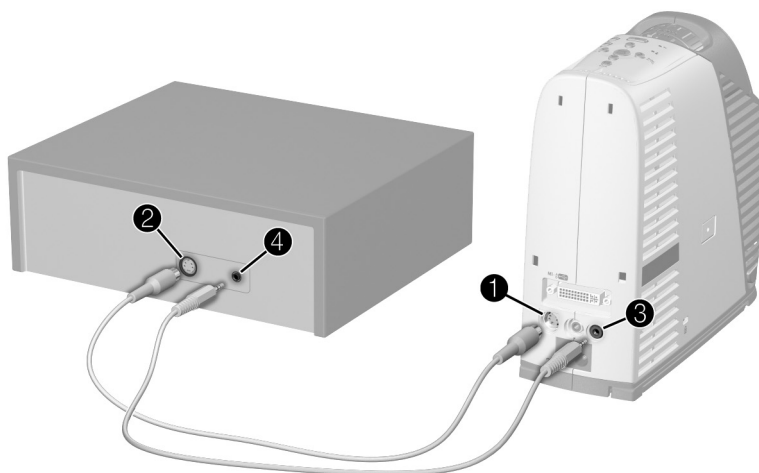


ビデオソースを接続するには

Sビデオ接続

たいていのDVDプレーヤーやビデオデッキにはSビデオポートがあります。

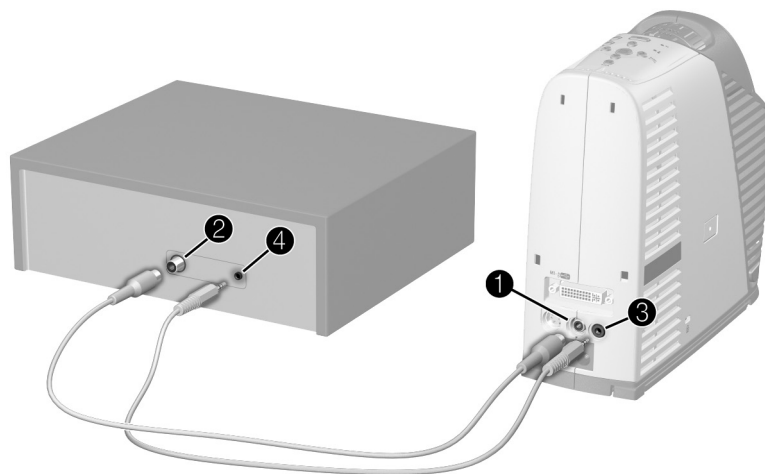
1. プロジェクタのSビデオポート**①**とビデオデバイス**②**をSビデオケーブルで接続します。
2. (オプション)オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート**③**とビデオデバイス**④**をミニプラグオーディオケーブルで接続します。ビデオデバイスにRCAオーディオコネクタがある場合は、ミニプラグRCAアダプタまたはケーブルを使用してください。



コンポジットビデオ接続

たいていのビデオデッキやビデオ機器にはコンポジットビデオ出力(1個のRCAビデオ出力コネクタ)があります。

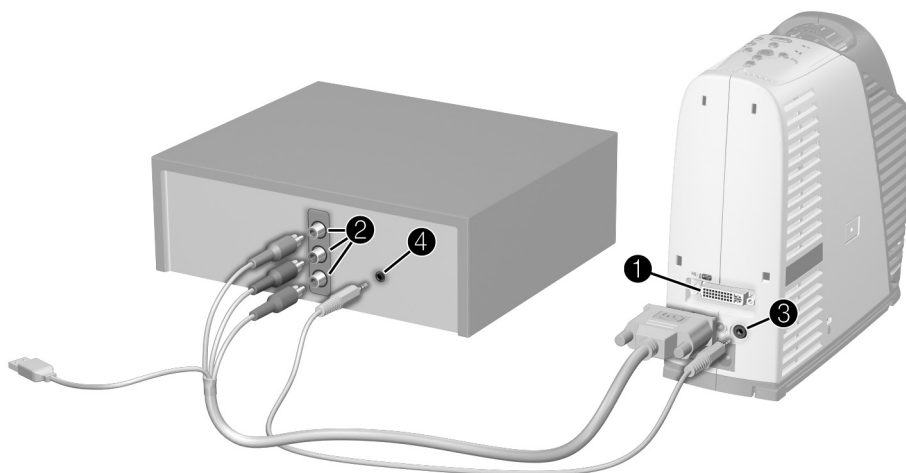
1. プロジェクタのコンポジットビデオポート**①**とビデオデバイスのRCAビデオポート**②**をコンポジットビデオケーブル(RCAコネクタ)で接続します。
2. (オプション)オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート**③**とビデオデバイス**④**をミニプラグオーディオケーブルで接続します。ビデオデバイスにRCAオーディオコネクタがある場合は、ミニプラグRCAアダプタまたはケーブルを使用してください。



コンポーネントビデオ接続

たいていのDVDプレーヤーと高品質ビデオデバイスには、通常、YPbPrまたはYCbCrというラベルが付いた3つのRCAコネクタがコンポーネントビデオ出力として装備されています。

1. プロジェクタのM1ポート①とビデオデバイスのYPbPrまたはYCbCrポート②をM1-コンポーネントビデオケーブル(HPから入手可能)で接続します。
2. (オプション)オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート③とビデオデバイス④をミニプラグオーディオケーブルで接続します。ビデオデバイスにRCAオーディオコネクタがある場合は、ミニプラグRCAアダプタまたはケーブルを使用してください。

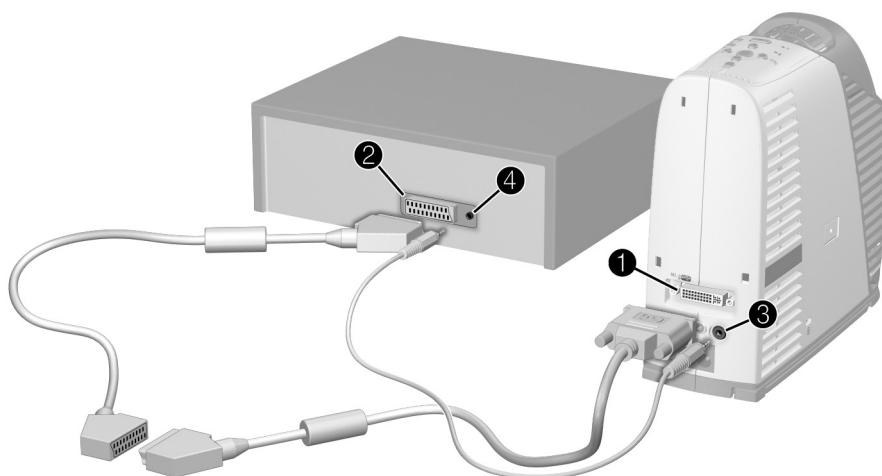


お使いのデバイスにRGBまたは同様のツイスト式BNCコネクタがある場合は、M1-BNCケーブル(HPから入手可能)を使用します。

SCART接続

ビデオデバイスの一部のタイプはSCARTビデオコネクタを装備しています。

1. プロジェクタのM1ポート①にM1-SCARTアダプタケーブルを接続し、SCARTケーブルでアダプタとSCARTデバイス②を接続します。
2. (オプション)オーディオ信号を受信するには、プロジェクタのオーディオポート③とビデオデバイス④をミニプラグオーディオケーブルで接続します。ビデオデバイスにRCAオーディオコネクタがある場合は、ミニプラグRCAアダプタまたはケーブルを使用してください。



HP製アダプタケーブルのSCARTコネクタにはスイッチがあります。スイッチを1に設定して画像が鮮明に見えない場合は、2に設定してください。

電源のオン/オフ

このセクションではプロジェクタの電源をオン・オフする方法について説明します。

- 「プロジェクタの電源をオンにするには」 27ページ
- 「プロジェクタの電源をオフにするには」 28ページ
- 「プロジェクタをリセットするには」 28ページ

プロジェクタの電源をオンにするには

1. 電源コードが接続されていることを確認してください。
2. レンズキャップ両側のつまみ **①** を押し込んでまっすぐ前に引き出し **②**、レンズキャップを外します。
3. プロジェクタ上部の電源ボタン **③** またはリモコンの電源ボタンを押します。



4. コンピュータ、携帯端末、DVD プレーヤーなどのソースを接続してオンにします。詳細については、16ページの「プロジェクタのセットアップ」を参照してください。

プロジェクタの電源をオフにするには

1. プロジェクタの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。
クールダウンが終了すると電源ボタンの点滅が止まり、プロジェクタの電源がオフになります。
2. クールダウン中にビデオ機器やオーディオ機器の接続をプロジェクタから取り外してもかまいませんが、電源コードは取り外さないでください。
3. 電源を抜いたりプロジェクタを移動したりする場合は、電源ボタンのライトの点滅が消えてから電源コードを取り外してください。



注意: プロジェクタのクールダウンが終了し(ファンが停止)、電源ボタンのライトの点滅が消えるまで、プロジェクタの電源コードを抜いたりスイッチをオフにしたりしないでください。これは、ランプの寿命を低下させるのを防ぐためです。

クールダウン中にプロジェクタの電源をオンにしようとしても、オンにはなりません。クールダウンが終了し、電源ボタンの点滅が消えてからオンにしてください。

プロジェクタをリセットするには

プロジェクタが全く応答しなくなった場合、電源を切断することですべての回路をリセットすることができます。

1. プロジェクタまたはリモコンの電源ボタンを押してプロジェクタをオフにし、クールダウンが終わって電源ボタンの点滅が消えるまで待ちます。プロジェクタがオフにならない場合は、次の手順に進んでください。
2. 電源ケーブルを取り外します。15秒以上そのままの状態にしておき、プロジェクタが十分にクールダウンするまで待ちます。
3. 電源ケーブルをもう一度差し込み、電源ボタンを押してプロジェクタを再始動させます。

基本調整

このセクションでは、プロジェクタの基本的な調整方法について説明します。

- 「プロジェクタの投影位置を調整するには」 29ページ
- 「焦点とズームを調整するには」 30ページ

プロジェクタの投影位置を調整するには



プロジェクタの向きを変えるためにチルトボタンを押すとベースからプロジェクタを安定させるための支柱が軽く飛び出します。

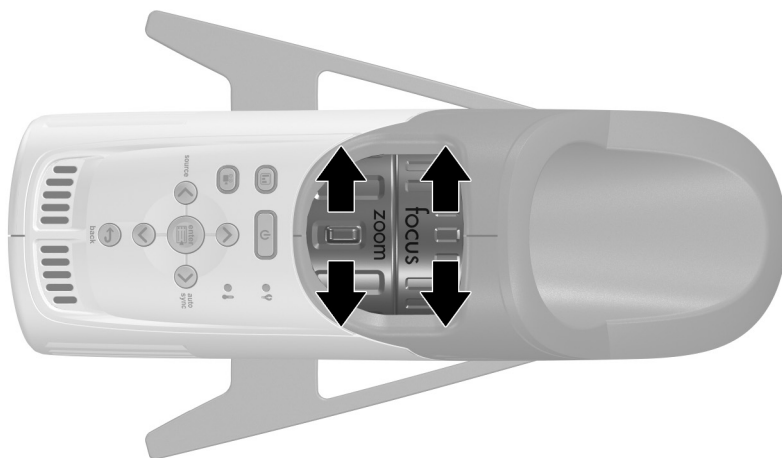
- スクリーン上の投影画像の位置を上げるには、チルトボタン①を押します。続いて、支柱が軽く飛び出し②、適切な表示角度になるまでプロジェクタの前部を持ち上げます。チルトボタンから指を離すと、その位置で固定されます。
- 投影画像の位置を下げるには、プロジェクタ前部が希望する位置まで下がるまでチルトボタンを押します。チルトボタンから指を離すと、その位置で固定されます。
- プロジェクタを保管する場合は、チルトボタンを押してプロジェクタがベースまで下がったら、チルトボタンから指を離します。支柱をベースの中に押し入れます。



プロジェクタを上下に傾けると、画像の両側が歪む場合がありますが、プロジェクタの自動調整機能によりまっすぐに修正されます。さらに調整が必要な場合は、35ページの「画像の形を調整するには」を参照してください。

焦点とズームを調整するには

1. **focus ring**（フォーカスリング）を回して、画像が鮮明になるように調整します。
プロジェクタが焦点を調節できる距離は、1.2～12 mの範囲です。
2. **zoom ring**（ズームリング）を回して、画像の大きさを100%～120%の範囲で調整します。



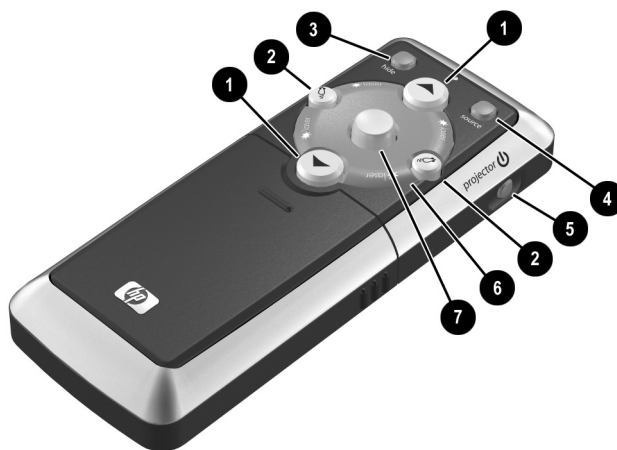
画像がスクリーンに比べて小さすぎる場合は、プロジェクタをスクリーンに近づけてください。

プレゼンテーション






この章では、プロジェクタを使用してプレゼンテーションを行う方法について説明します。

- 「リモコンを使用する」 31ページ
- 「プレゼンテーションの表示」 33ページ

リモコンを使用する



- プロジェクタをオン/オフするには、電源ボタン⑤を押します。
- レーザポインタをオンにするには、青いレーザリング⑥を押します。
- 投影された画像を非表示にしたり再表示したりするには、**hide**ボタン③を押します。
- 接続されている次の入力ソースに切り替えるには、**source**ボタン④を押します。
- コンピュータのマウスのように操作するには、マウスボタン⑦を傾けてポインタを動かし、左クリック②または右クリック②ボタンを押します。この機能を使用するには、プロジェクタとコンピュータをUSB接続する必要があります。

- コンピュータのページを上下にスクロールするには、ページアップ  ① およびページダウン  ① ボタンを押します。この機能を使用するには、プロジェクタとコンピュータをUSB接続する必要があります。
- その他のボタンを使用するには、リモコンのケースをスライドさせて開けます。
 - 入力信号の種類に応じて最適な画像を表示するには、ビジネスグラフィックスボタン  またはシアタービデオボタン  を押します。
 - オンスクリーンメニューを使ってプロジェクタ設定を変更するには、**enter** を押し、矢印ボタンを使って変更を行います。詳細な手順については、38ページの「オンスクリーンメニューの使用方法」を参照してください。
 - オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**back**  ボタンを必要な回数だけ押します。
 - 同期を調整するには、**auto sync** ボタンを押します。

リモコンの隠れている部分については、13ページの「リモコン」を参照してください。



9 m以内の距離から、リモコンをプロジェクタの側面に向けます。プロジェクタの前面または背面に近づき過ぎている場合は、2mほど離れた位置まで移動してください。



警告: 目の損傷を避けるため、リモコンのレーザ光を直接のぞき込んだり、レーザ光線を人の目に向けたりしないでください。

プレゼンテーションの表示

このセクションでは、プレゼンテーション中に行える操作について説明します。

- 「コンピュータからプレゼンテーションを行うには」 33ページ
- 「ソースを変更するには」 34ページ
- 「画面を非表示にしたり再表示したりするには」 34ページ

コンピュータからプレゼンテーションを行うには

1. コンピュータがプロジェクタに接続されていることを確認します。詳細については、20ページの「コンピュータを接続するには」を参照してください。
2. コンピュータとプロジェクタの電源がオンになっていることを確認します。詳細については、27ページの「プロジェクタの電源をオンにするには」を参照してください。



コンピュータの画面がスクリーンに投影されていない場合、ファンクションキー (**Fn + F4**または**Fn + F5**など)を押してコンピュータのビデオポートを有効にする必要がある場合があります。詳細は、プロジェクタに付属するビデオポートカードを参照してください。

3. 投影画像を調整したい場合は、35ページの「画像とサウンドの調整」を参照してください。
4. リモコンを使ってプレゼンテーションを効果的に行うことができます。詳細については、31ページの「リモコンを使用する」を参照してください。
 - プレゼンテーションのページを移動するには、ページアップ **▲** またはページダウン **▼** ボタンを押します。
 - マウスポインタを動かすには、マウスボタンを傾けます。
 - レーザポインタをオンにするには、レーザリングを押します。



マウスやページアップ **▲** ページダウン **▼** 操作を行う場合、9m以内の距離からリモコンをプロジェクタの側面に向けます。プロジェクタの前面または背面に近づき過ぎている場合は、2mほど離れた位置まで移動してください。

これらの操作を行うには、プロジェクタとコンピュータをUSB接続する必要があります。



警告: 目の損傷を避けるため、リモコンのレーザ光を直接のぞき込んだり、レーザ光線を人の目に向けたりしないでください。

ソースを変更するには

ソースを変更する手順:

- プロジェクタまたはリモコンの**source**ボタンを押します。
- オンスクリーンメニューを開き、**入力**を選択し、入力ソースが接続されているポートを選択します。

画面を非表示にしたり再表示したりするには

画面を一時的に非表示にすることができます。

- リモコンの**hide**ボタンを押します。
- オンスクリーンメニューを開き、**クイックセレクト > 非表示**を選択します。

もう一度**hide**ボタンを押すか、プロジェクタまたはリモコンのいずれかのボタンを押すまで画面は空白になります。



Microsoft PowerPointを使用する場合、**B**キーまたは**W**キーを押すことで画面を非表示にすることもできます。もう一度**B**キーまたは**W**キーを押すまで、画面は空白になります。

プロジェクタの調整

この章では、プロジェクタの調整方法について説明します。

- 「画像とサウンドの調整」 35ページ
- 「オンスクリーンメニューの使用方法」 38ページ

画像とサウンドの調整

このセクションでは、画像とサウンドの調整方法について、以下の項目に分けて説明します。


- 「画像の形を調整するには」 35ページ
- 「画像の種類に応じて投影画像を調整するには」 36ページ
- 「その他の画像設定を調整するには」 37ページ
- 「オーディオを調整するには」 37ページ
- 「プロジェクタのセットアップを調整するには」 37ページ

画像の形を調整するには



スクリーンに投影された画像の両端が傾いている場合は、これをまっすぐに直すことができます。傾きを修正するには、画像がまっすぐになるまで、画像の長いほうの辺を短くします。

1. オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > キーストーン補正**を選択します。
2. 必要に応じて、プロジェクタまたはリモコンのメニューボタンを使用してキーストーンの設定を調整します。
 - 画像の上辺の幅が広すぎたり、狭すぎたりする場合は、アップ **▲** またはダウン **▼** ボタンを押して上辺の幅を修正します。プロジェクタが自動で行う垂直キーストーン補正よりも、ここで行う調整のほうが優先されます。
 - 画像の片側がもう一方より高すぎたり低すぎたりする場合は、左 **◀** または右 **▶** ボタンを押して高さを修正します。

- ❑ 自動垂直キーストーン補正をオンにしたい場合は、このオプションが有効になるまで**enter**ボタンを押します。
- ❑ 自動補正をオフにしたい場合は、このオプションが無効になるまで**enter**ボタンを押します。


3. **back**  ボタンを押して設定を保存します。




アップ  またはダウン  ボタンを使用してキーストーン補正を調整すると、次に手動で有効にするか、プロジェクタの電源をオフにするまで自動補正はサスペンドされます。

画像の種類に応じて投影画像を調整するには

プロジェクタまたはリモコンの画像モードボタンを使って、投影画像を最適化できます。

- データプレゼンテーション用に画像を最適化するには、ビジネスグラフィックス  ボタンを押します。

ビジネスグラフィックスボタンがオンになります。

- ビデオ映像用に画像を最適化するには、シアタービデオ  ボタンを押します。

シアタービデオボタンがオンになります。

オンスクリーンメニューで画像の設定を調整する場合は、画像モードボタンがオフになり、ユーザ定義設定が表示されます。

その他の画像設定を調整するには


オンスクリーンメニューには、画像の微調整のためのさまざまな設定が用意されています。

1. オンスクリーンメニューを開き、**画像調整**を選択します。
2. 必要に応じて画像調整を変更します。

画像調整メニューでは、輝度、コントラスト、縦横比、キーストーン補正など、画像の基本および詳細設定を行うことができます。

すべての画像調整の説明については、42ページの「画像調整メニュー」を参照してください。



オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**back**  ボタンを必要な回数だけ押します。

オーディオを調整するには

1. オンスクリーンメニューを開き、**オーディオ**を選択します。
2. オーディオ調整を設定します。

オーディオメニューでは、ミュート、音量、高音、低音などのオーディオ設定を調整できます。

すべてのオーディオ調整の説明については、44ページの「オーディオメニュー」を参照してください。

プロジェクトのセットアップを調整するには

1. オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ**を選択します。
2. 必要に応じて画像調整を変更します。

セットアップメニューでは、メニューの言語、プロジェクトの設置場所、ランプセーバーモードなどの設定を選択できます。


すべてのセットアップの変更方法の説明については、44ページの「セットアップメニュー」を参照してください。

オンスクリーンメニューの使用方法

このセクションではオンスクリーンメニューの操作方法と機能について説明します。セクション内の各表は、本書刊行時点でファームウェアに組み込まれているオンスクリーンメニューの全機能の一覧です。ファームウェアのバージョンが異なる場合、一部のメニューがここに示すものと異なる可能性があります。

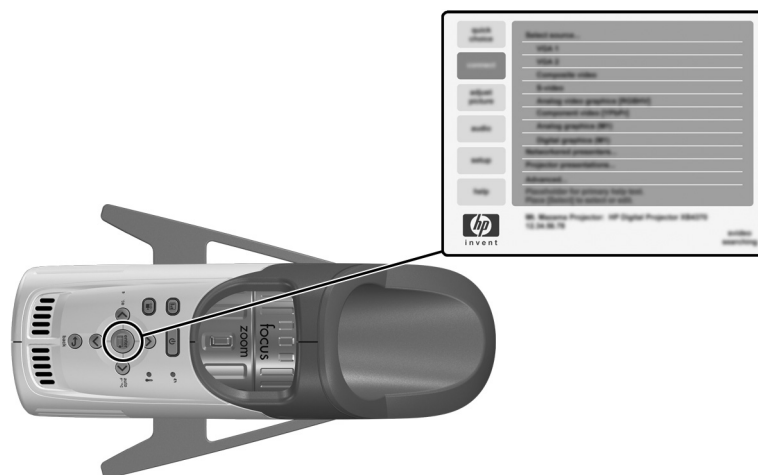
- 「設定を変更するにはオンスクリーンメニューを使います。」 39ページ
- 「クイックセレクトメニュー」 40ページ
- 「入力メニュー」 41ページ
- 「画像調整メニュー」 42ページ
- 「オーディオメニュー」 44ページ
- 「セットアップメニュー」 44ページ
- 「ヘルプメニュー」 45ページ



オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**back**  ボタンを必要な回数だけ押します。

設定を変更するにはオンスクリーンメニューを使います。

オンスクリーンメニューの設定は、プロジェクタのボタンまたはリモコンのボタンを使って変更できます。



1. プロジェクタまたはリモコンの**enter**を押すと、オンスクリーンメニューが開きます。
2. アップ **▲** またはダウン **▼** ボタンを押して目的のメニューを強調表示し、**enter**を押して強調表示されたメニューを選択します。
3. アップ **▲** またはダウン **▼** ボタンを押して目的のパラメータを強調表示し、**enter**を押して強調表示されたオプションを選択します。
4. 左 **◀** または右 **▶** を押すか、アップ **▲** またはダウン **▼** ボタンを押して目的の設定を選択します。一部の設定では、変更中に別の画面が表示されることがあります。
5. **enter**を押すか、画面に指示されたボタンを押してメニューに戻ります。
6. 別のメニューに移るには、**back** **↶** ボタンを押してからメニューを選択します。
7. オンスクリーンメニューを閉じるには、**back** **↶** ボタンを必要な回数だけ押します。

一定時間操作をしないでおくと、オンスクリーンメニューは閉じます。オンスクリーンメニューが閉じるまでの時間を変更するには、オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ>メニューのタイムアウト**を選択します。

クイックセレクトメニュー

このメニューは、他のメニューの機能のうち頻繁に用いられるものをすばやく呼び出すために使います。お使いのプロジェクトのメニュー内容は下に示すものと異なる可能性があります。

クイックセレクト

キーストーン補正	画像の台形歪みを補正します。プロジェクトで自動補正されない画像の場合は、この機能で補正します。
キーストーン補正のリセット	キーストーン補正をゼロにリセットします。
次の入力	使用可能な次の信号を入力ソースから検出します。
自動同期	プロジェクトを入力信号に再同期させます。信号の変化に応じた補正が可能です。
非表示	スクリーンの画像をすべて非表示にします。
ミュート	オーディオ出力を停止します。
拡大	画像の一部を拡大します。垂直/水平パンおよび拡大レベルを設定するメニューが表示されます。パンを使用するには、あらかじめ画像を拡大しておく必要があります。

入力メニュー

説明図については、12ページの「バックパネル」を参照してください。

入力

デジタル/アナログ画像(M1)	M1ポートへのデジタルまたはアナログ入力を示します。このポートには、アナログVGAおよびSCART装置や、デジタルDVI(Digital Video Interface)装置など、数種類の装置を接続できます。この接続は、装置によってはグラフィックスまたはビデオ入力と見なされます。
コンポジットビデオ	黄色のコンポジットポート(バックパネルのSビデオポートの右側の入力)への入力を示します。このポートは通常テレビやビデオデッキに接続されます。この入力通常はビデオ入力と見なされます。
Sビデオ	Sビデオポートへの入力を示します。これは通常、ビデオデッキ、ビデオカメラ、DVDプレーヤなどのビデオ装置に接続します。この接続は通常はビデオ入力と見なされます。
ソースの自動検出	プロジェクタが入力信号を自動検出し、次に検出されたソースを自動的に表示するかどうかを設定します。

画像調整メニュー

画像調整

画像モード	画像の種類に応じてカラーパレットを調整します。コンピュータプレゼンテーションまたはビデオ出力に合わせて、画像を最適化できます。画像モードを変更するボタンは、リモコンとプロジェクトにあります。
輝度	画像を明るくしたり暗くしたりします。
コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。
カラースペース	コンポーネント入力の一部で、入力ソースが使用している信号エンコーディングのタイプを選択します。プロジェクトの選択をオーバーライドすることもできます。
詳細画像設定 >	詳細画像設定を調整します。
彩度	色の彩度を調整します。
色合い	色を赤または緑の方向にずらします。
鮮明度	画像の鮮明度を調整します。
色温度	色を赤または青の方向にずらします。
周波数	コンピュータのグラフィックスカードに応じてプロジェクトのタイミングを調整します。
トラッキング	プロジェクトをコンピュータのグラフィックスカードと同期します。
垂直位置	画像を投影領域内で上下に移動します。
水平位置	画像を投影領域内で左右に移動します。
キーストーン補正	画像の台形歪みを補正します。プロジェクトで自動補正されない画像の場合、この機能で補正します。

画像調整 (続き)

キーストーン補正のリセット	キーストーン補正をゼロにリセットします。
縦横比	<p>プロジェクタで自動補正されない画像の場合に、縦横の比率を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 自動調整を選択すれば、ほとんどの入力に対して自動的に適応します。• 投影エリア全体に画像を拡大するには、全画面を選択します。• ワイドスクリーン画像が引き伸ばされたように見える場合は、16:9を選択します。• 入力画像の1ドットを投影画像の1ドットに対応させるには、1-to-1を選択します。
ビデオ設定のリセット	このメニューの設定値をデフォルト値に戻します。

オーディオメニュー

オーディオ

ミュート	オーディオ出力を停止します。
音量	音の大きさを調整します。
高音	高周波数の音の大きさを調整します。
低音	低周波数の音の大きさを調整します。
オーディオ設定のリセット	このメニューの設定値をデフォルト値に戻します。

セットアップメニュー

セットアップ

言語	メニューの言語を選択します。
ランプセーバー	ランプの寿命を延ばすために、ランプの出力を低く設定します。
プロジェクターの配置	プロジェクタの向き(正立/倒立、スクリーン前/後)に応じて画像を調整します。向きに合わせて画像を反転したり裏返したりします。
自動キーストーン	画像の台形歪みを自動補正するかどうかを設定します。
メニューのタイムアウト	オンスクリーンメニューを閉じるまでの入力待ち時間を設定します。
ランプ時間のリセット	新しいランプの場合は、使用時間をリセットします。
すべての設定のリセット	ほとんどのメニューの設定値をデフォルト値に戻します。

ヘルプメニュー

ヘルプ

このプロジェクターについて	プロジェクタの情報とステータスを表示します。
診断テスト	プロジェクタとリモコンの動作をチェックするためのテストを表示します。

プロジェクトのメンテナンス

この章では、プロジェクトのメンテナンス方法について説明します。

- 「日常のメンテナンス」 47ページ
- 「プロジェクトのアップグレード」 51ページ

日常のメンテナンス

このセクションでは日頃のメンテナンスの方法について説明します。

- 「プロジェクトのステータスを見るには」 47ページ
- 「プロジェクトのレンズを清掃するには」 47ページ
- 「ランプモジュールを交換するには」 48ページ
- 「リモコンの電池を交換するには」 50ページ

プロジェクトのステータスを見るには

- オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ> このプロジェクターについて**を選択します。画面にプロジェクトの情報とステータスが表示されます。

プロジェクトのレンズを清掃するには

- レンズ表面を損傷したり傷付けたりしないため、脱イオン処理したきれいな乾いた空気でレンズから埃を吹き飛ばしてください。

この方法で不十分な場合は、次の方法を使ってください。

- きれいな乾いた布で、レンズを同一方向に拭きます。レンズ表面を往復させて拭かないようにしてください。

布が汚れていたり、レンズに汚れが付いた場合は、布を洗ってください。布が洗ってもきれいにならない場合、あるいは生地が傷んでいる場合は、別の布を使ってください。



注意: 清掃には以下のような特別な注意が必要です。

- レンズ表面に液体やクリーナーを直接吹き付けることは絶対にしないでください。クリーナーがレンズを損傷するおそれがあります。
 - 清掃用の布を洗う際に柔軟剤を使用したり、乾かすときに柔軟シートを使用したりすることは避けてください。布に付いた化学物質がレンズの表面を損傷するおそれがあります。
 - 清掃用の布がレンズに触れたままで長時間保管しないでください。布の染料がレンズに移るおそれがあります。布を空気中に放置しておくと汚れるおそれがあります。
-

ランプモジュールを交換するには



警告: ランプモジュールを交換する際は、特別な注意が必要です。

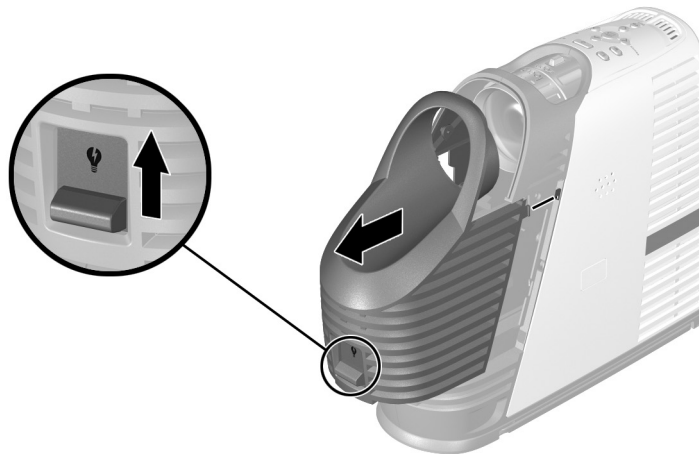
- 寿命に近づいたランプは、割れるおそれがあります。怪我を避けるため、ランプモジュールを取り外す際には割れたガラスがないかどうか注意してください。天吊りの場合、ランプモジュールを取り外す際は目の保護用のゴーグルと手袋を着用してください。ランプが割れている場合は、修理が必要な可能性があるのでHPまでご連絡ください。
 - ランプ部品は非常に高温になるため、ランプモジュールは30分ほどしてから取り外してください。
-

1. プロジェクタをオフにし、約30分間冷却します。
2. プロジェクタ前面のラッチを上スライドさせます。
3. ランプケースをプロジェクタからスライドさせて外します。
4. 新しいランプケースをプロジェクタにスライドさせてかぶせます。
5. ラッチを押し下げます。

6. プロジェクタをオンにします。ウォームアップ時間が過ぎてもランプが点灯しない場合は、もう一度ランプを取り付けてみてください。
7. オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ>ランプ時間のリセット**を選択します。

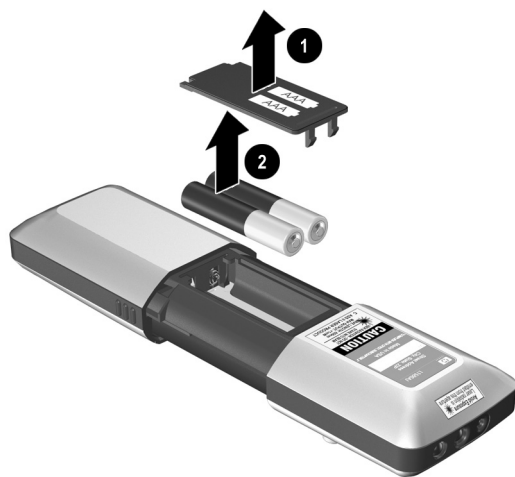


警告: ランプには少量の水銀が含まれています。ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または電子工業会 (<http://www.eiae.org>)にお問い合わせください。



リモコンの電池を交換するには

1. リモコンのケースをスライドさせて開けると、電池室が現れます。
2. リモコンの裏側の電池カバー ❶を開けると電池が現れます。
3. 古い電池を取り出し、新しい単4電池2個を入れます❷。
4. 電池カバーを取り付けます。



古い電池を廃棄する場合は、電池の廃棄またはリサイクルに関する規制について、自治体または廃棄業者にお問い合わせください。

プロジェクトのアップグレード

ファームウェアをアップデートするには

HPではプロジェクトの性能改善のために、プロジェクトのファームウェアの最新バージョンを随時リリースしています。プロジェクトのファームウェアのバージョンは、プロジェクトのオンスクリーンメニュー(**ヘルプ > このプロジェクトについて**)に表示されます。最新バージョンの有無はhttp://www.hp.com/go/proj_firmwareをご確認ください。

USB接続によるアップデート

1. VGAポートとUSBポートを持つコンピュータで、HPプロジェクトアップグレードウェブサイトアクセスし(このセクションの最初を参照)、最新のUSBアップグレード用ファイルをダウンロードします。
2. プロジェクトのM1ポート1とコンピュータのVGAポートをM1-VGA/USBケーブルで接続します。
3. M1-VGA/USBケーブルのUSBプラグをコンピュータのUSBポートに接続します。この接続は必ず行ってください。
4. コンピュータ上で、ダウンロードしたファイルをダブルクリックして実行します。画面に表示される指示に従います。指示されるまでプロジェクトをオフにしないでください。

プロジェクタの設置

この章では、プロジェクタの設置方法について説明します。

プロジェクタの設置方法

このセクションでは、プロジェクタを定位置に設置する方法について説明します。

- 「プロジェクタを三脚に設置するには」 53ページ
- 「卓上に設置するには」 54ページ
- 「天井に設置するには」 55ページ
- 「背面投影用に設置するには」 56ページ
- 「プロジェクタをロックするには」 57ページ

プロジェクタを三脚に設置するには

このプロジェクタの底面には、三脚用の取付け部があります。これにカメラ店や電気店で市販されている三脚を取付けて使用することができます。

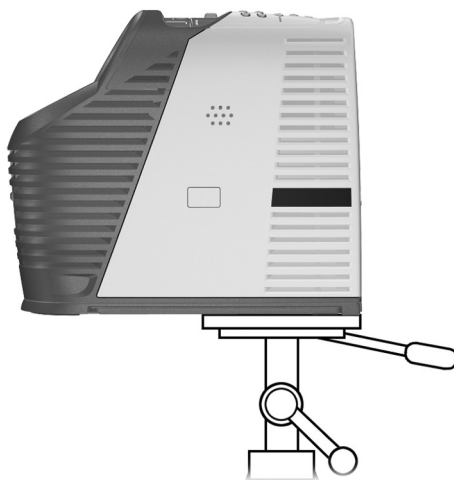


注意：

- 三脚は、耐荷重が2.5kg以上のものをご使用ください。詳細については、三脚に付属の説明書を参照してください。
 - 三脚の取付け用ネジを強く締めすぎないようにご注意ください。ネジが壊れてプロジェクタが三脚から落下するおそれがあります。
-

1. 必要に応じて、三脚から取付けブロックを取り外します。
2. 三脚の取付けブロックにガイドピンが付いている場合は、プロジェクタ底面にあるガイドピンの穴の位置に合わせます。

3. 三脚の取付けブロックをプロジェクタ底面の取付け穴に取付けます。
4. 三脚の説明書の指示にしたがって、プロジェクタと三脚の取付けブロックを三脚に取付けます。



卓上に設置するには

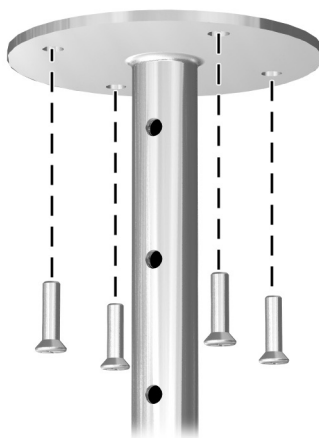
この設置方法については、第1章で詳しく説明しています。詳細については、16ページの「プロジェクタのセットアップ」を参照してください。

天井に設置するには



警告: 不適切な設置が原因で起こるケガなどを防ぐために、プロジェクタの天井設置は専門の技術者にお任せになることをお勧めします。

1. 天井取付けブラケットの端と、下部取付けブラケットの中央の穴とを合わせ、ワッシャとボルトでしっかりと固定します。
2. 取付けブラケットをプロジェクタに取付けます。天井取付け器具に付属の説明書を参照してください。
3. 天井取付けブラケットを天井にあてがい、耐荷重4 kgの4本のネジでしっかりと固定します。天井取付けブラケットはスクリーンの前面から1.2～12 mの範囲内に取付けます。16ページの「プロジェクタのセットアップ」の表を参照してください。



4. 設定に合わせてオンスクリーンメニューを変更します。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ> プロジェクターの配置**を選択します。次に、ドロップダウンリストから**天吊り(スクリーン正面)**を選択します。

背面投影用に設置するには

1. 背面投影用の半透明スクリーンの背面から1.2～12 m離れた位置にプロジェクタを配置します。

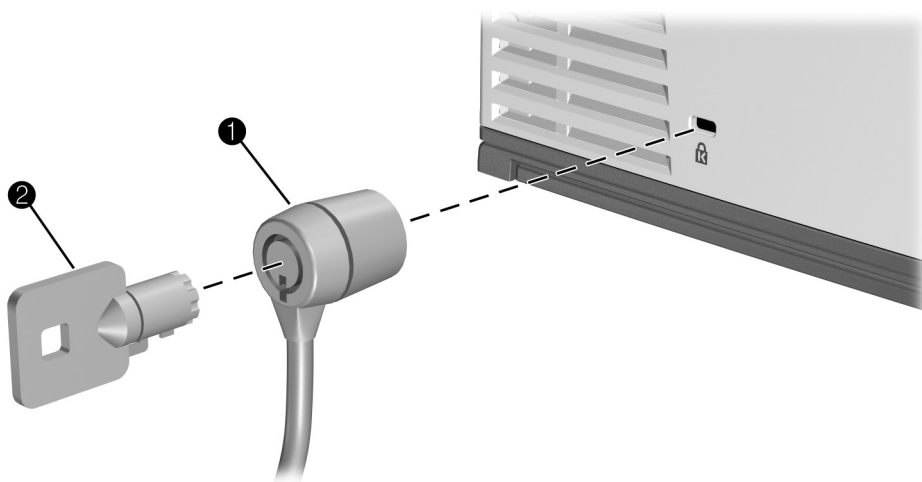
詳細な手順については、19ページの「卓上に設置するには」または55ページの「天井に設置するには」を参照してください。

2. オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ > プロジェクターの配置**を選択します。次に、ドロップダウンリストから**スクリーン裏側**または**天吊り(スクリーン裏側)**を選択します。

プロジェクトをロックするには

プロジェクトには、ケーブルとロック(コンピュータ販売店などで広く市販されている Kensington MicroSaver ロックシステムなど)で固定するためのスロットが装備されています。

1. 机の脚などの固定された物体にケーブルを巻きつけます。ケーブルを固定物の回りで引き結びを作り、外れないことを確認します。
2. ロック ❶ を穴に差込み、キー ❷ を回します。



問題の解決

この章では、起きうる問題とそれらへの対処に関するヒントを紹介します。

- 「トラブルシューティングのヒント」 59ページ
- 「プロジェクトのテスト」 67ページ

トラブルシューティングのヒント

このセクションを使用するには、発生した問題に最も近い例を探し、問題が解決するまで解決方法を1つずつ試してみてください。記載されているヒントで問題が解決しない場合は、HPまでご連絡ください。プロジェクトに付属する『サポートガイド』もご参照ください。

- 「始動時の問題」 60ページ
- 「画像の問題」 61ページ
- 「音声の問題」 65ページ
- 「停止の問題」 65ページ
- 「リモコンの問題」 66ページ

始動時の問題

ライトが点灯せず、音もしない場合:

- ❑ 電源ケーブルがプロジェクタにしっかり接続されており、ケーブルのもう一方の端が通電している電源コンセントに差し込まれていることを確認します。
- ❑ 電源ボタンをもう一度押します。

プロジェクタは始動したが、画像が投影されない場合:

- ❑ レンズキャップが取り外されていることを確認します。
- ❑ プロジェクタ前面のランプモジュールのラッチが閉じていることを確認します。
- ❑ ランプインジケータが点灯している場合は、ランプモジュールを交換するか取り付け直します。ランプインジケータが点滅している場合は、プロジェクタをオフにしてクールダウンしてから再始動します。インジケータの点滅が続く場合はランプモジュールを交換します。
- ❑ 温度インジケータが点灯または点滅している場合は、プロジェクタをオフにしてクールダウンしてから再始動します。警告ライトがまた点灯または点滅する場合は、HPにご連絡ください。

プロジェクタからカチカチ音がある場合、プロジェクタのランプが点灯せず、ランプインジケータが点灯または点滅する場合:

- ❑ プロジェクタのランプの温度が上がりすぎて点灯できません。プロジェクタをオフにしてクールダウンしてから再始動します。
- ❑ プロジェクタのランプの接続が不良です。プロジェクタをオフにし、冷却します。続いて、プロジェクタ前面のランプモジュールのラッチを上下にスライドさせます。ラッチは一番下まで押し下げます。
- ❑ プロジェクタのランプが寿命に達しています。ランプを交換してください。

画像の問題

スクリーンに画像が表示されないが、HPの起動画面は表示される場合:

- ❑ プロジェクタまたはリモコンの**source**ボタンを押します。
- ❑ ノートブックまたはデスクトップコンピュータのスクリーンセーバー機能をオフにします。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、ノートブックコンピュータの外部ビデオポートがオンになっていることを確認します。プロジェクタに付属するビデオポートカードを参照してください。例えば、一部のノートブックでは、**Fn + F4**ファンクションキーを押して外部ビデオポートをオンにする必要があります。
- ❑ 正しい入力ソースが接続されていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**入力**を選択します。次に、機器が接続されている正しい入力ポートを設定します。
- ❑ 自動検出が使用可能になっていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**入力 > ソースの自動検出**を選択します。

正しくない入力ソースが表示される場合:

- ❑ プロジェクタまたはリモコンの**Source**ボタンを押して、別のアクティブな入力ソースを選択します。
- ❑ 正しい入力ソースが接続されていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**入力**を選択します。続いて、正しい入力ソースを設定します。
- ❑ プロジェクタの自動検出が使用可能になっていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**入力 > ソースの自動検出**を選択します。
- ❑ 入力ソースの電源をオフ・オンできる場合は、オンスクリーンメニューを開き、**入力**を選択します。**ソースの自動検出**を**無効**に設定して、正しい入力ソースを選択します。

画像の焦点が合っていない場合:

- ❑ レンズキャップが取り外されていることを確認してください。
- ❑ オンスクリーンメニューを表示しながら、フォーカスリングを調整します(画像の大きさは変化しないはずです。変化する場合はフォーカスでなくズームを調整しています)。
- ❑ 投影スクリーンがプロジェクタから1.2～12 mの距離にあることを確認します。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、コンピュータの表示解像度を1024×768ピクセルに設定します。
- ❑ 投影レンズを見て、汚れていたら清掃します。

画像が上下逆または反転状態で表示される場合:

- ❑ プロジェクタの位置設定が間違っています。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ> プロジェクターの配置**を選択して、**正しい設定を選択**します。

画像が小さすぎるか大きすぎる場合:

- ❑ プロジェクタ上部にあるズームリングを調整します。
- ❑ プロジェクタが投影スクリーンから1.2～12 mの距離にあることを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 縦横比**を選択します。**自動調整**または**全画面**に設定します。ワイドスクリーン画像の場合は、縦横比を**16:9**に設定します。

画像に台形歪みがある場合:

- ❑ できるだけ、プロジェクタの位置をスクリーンの中央、スクリーンの下端より下、または上端より上の高さになるように調節します。
- ❑ このプロジェクタはプロジェクタを上下に傾けたときに、画像の歪みを自動的に補正することができますが、状況によっては、手作業での補正が必要な場合があります。オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > キーストーン補正**を選択します。必要に応じて、水平または垂直設定を調整するか、自動キーストーン補正を有効または無効にします。

表示画像がスクロールしたり切れたりする場合:

- ❑ プロジェクタまたはリモコンの**auto-sync**(自動同期)ボタンを押します。
- ❑ デジタルズームがオンになっている場合は、**enter**を押してズームをキャンセルします。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、すべての電源をオフにしたあと、まずプロジェクタをオンにしてからノートブックまたはデスクトップコンピュータの電源をオンにします。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、上記の手順で表示画像が直らなかった場合は、ノートブックまたはデスクトップコンピュータの解像度を1024×768ピクセルに調整します。

画像が点滅したり不安定になったりする場合:

- ❑ プロジェクタのパネルまたはリモコンの **auto-sync**(自動同期) ボタンを押します。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、表示解像度を1024×768ピクセルに設定します。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、オンスクリーンメニューを開いて、**画像の調整 > 詳細画像設定**の順に選択し、**周波数**または**トラッキング**を選択します。

画像が引き伸ばされている場合:

- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 縦横比**を選択します。**自動調整**または**全画面**に設定します。ワイドスクリーン画像の場合は、縦横比を**16:9**に設定します。または、縦横比を**1-to-1** に設定します。

コンピュータ画面から画像が消える場合:

- ❑ ノートブックコンピュータでは、外部VGAポートと内蔵画面の両方をオンにできる場合があります。コンピュータのマニュアルまたはプロジェクタのビデオポートガイドを参照してください。

投影画像の色がわずかに違って見える場合:

- ❑ プロジェクタのシアタービデオボタンが点灯していない場合は、プロジェクタまたはリモコンのシアタービデオボタンを押してみます。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 詳細画像設定**を選択します。必要に応じて詳細設定を変更します。

- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > カラースペース**を選択します。選択を変更します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。カラーテストを実行します。

投影画像の色が全く違って見える場合:

- ❑ YPbPrまたはRGB入力装置の場合は、ビデオコネクタがすべて正しく対応していることを確認します。
- ❑ ケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないことを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > カラースペース**を選択します。選択を変更します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。カラーテストを実行します。
- ❑ 画像設定をデフォルトの設定に戻します。以下の問題を参照してください。

画像設定が完全に間違っており、修正できない場合:

- ❑ 投影設定をデフォルトの設定に戻します。デフォルト設定に戻すには、プロジェクタのダウン **▼** + アップ **▲** + 右 **➡** ボタンを同時に5秒間押し続けます(この操作を行っても接続モジュールの設定はリセットされません)。

DVIデバイスで画面にエラーメッセージや無意味な画像が表示される場合:

- ❑ 高品位デジタルソースの一部には、HDCP(High-bandwidth Digital-Content Protection)によるコンテンツ保護が組み込まれています。この種のコンテンツはこのプロジェクタでは表示できません。装置にSビデオなどの別の出力ポートがある場合は、そのポートをプロジェクタに接続してみてください。

プロジェクタがすべての操作に応答しない場合:

- ❑ 可能な場合は、プロジェクタの電源をオフにし、電源コードを外します。15秒以上経過したら電源コードを接続して電源をオンにします。

音声の問題

プロジェクタから音が全く出ない場合:

- プロジェクタと入力デバイスがオーディオケーブルで確実に接続されていることを確認します。
- コンピュータ、DVDプレーヤ、ビデオカメラなどの入力装置のミュートや音量の設定が正しいことを確認します。
- オンスクリーンメニューを開き、**オーディオ**を選択します。以下の設定を確認します。
 - ◆ ミュートがオフになっている。
 - ◆ 音量設定が正しい。

停止の問題

ランプインジケータまたは温度インジケータが点灯または点滅する場合:

- ランプインジケータが点灯している場合は、ランプモジュールが切れています。新しいランプを取り付けてください。
- ランプインジケータが点滅している場合は、ランプが点灯不可能です。プロジェクタが冷却するまで待ってから、もう一度始動させます。インジケータがまた点滅する場合は、新しいランプを取り付けてください。
- 温度インジケータが点灯または点滅する場合は、プロジェクタが過熱しています。以下の問題を参照してください。

プロジェクタが突然シャットダウンし、温度ライトが点灯した場合:

- 温度ライトが点滅している場合、ファンが動作していません。プロジェクタを数分間冷却してください。
- 温度ライトが常時点灯している場合、プロジェクタが過熱しています。プロジェクタを数分間冷却してください。
- 通気が妨げられている場合、障害物を取り除きます。
- 可能なら、大きな熱源を部屋から取り除きます。
- プロジェクタを再始動しても同じ状態になる場合は、修理が必要ですのでHPまでご連絡ください。

プレゼンテーション中にランプが消える場合:

- ❑ 小さな電源サージのためにランプが消える場合があります。数分間待つてからプロジェクタをオンにしてください。
- ❑ ランプモジュールが切れている可能性があります。ランプモジュールを交換してください。

ランプが切れるか、破裂音がする場合:

- ❑ ランプが寿命に達すると、切れて破裂音を発する場合があります。この場合、ランプモジュールを交換しないとプロジェクタをオンにすることはできません。
- ❑ ランプが割れた場合、修理が必要な可能性があるのでHPまでご連絡ください。

リモコンの問題

リモコンが動作しない場合:

- ❑ ボタンを押したときにリモコン前部のインジケータライトが点滅すれば、リモコンは正しく動作しています。ライトが点滅しない場合は、リモコンに新しい単4電池2個を装着してください。
- ❑ プロジェクタ側面にあるリモコンの受光部が何かで覆われていないことを確認して、プロジェクタから9 m以内の距離に近づいてください。プロジェクタの前面または背面に近づき過ぎている場合は、2 mほど離れた位置まで移動してください。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。リモコンのテストを実行します。

マウスとページアップ/ページダウンボタンだけが動作しない場合:

- ❑ プロジェクタとコンピュータがUSB接続されていることを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。リモコンとUSBのテストを実行します。

プロジェクタのテスト

オンスクリーンメニューにある診断テストを使って、プロジェクタとリモコンの動作が正しいかどうかを検証できます。

プロジェクタ診断テストを実行するには

1. オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。
2. 実行するテストを選択します。

リファレンス

この章には、プロジェクタの仕様、安全情報、規制情報を記載します。

- 「仕様」 69ページ
- 「安全情報」 75ページ
- 「規制情報」 77ページ

仕様

HPでは常に製品の改良に努めており、以下の仕様は変更される可能性があります。最新の仕様については、HPウェブサイト<http://www.hp.com/jp>をご覧ください。

プロジェクタ仕様の説明

表示解像度	XGA
投影方式	DLP
ビデオコネクタ	M1-DA(デジタル/アナログ)入力、オプションでVGA、DVI、コンポーネントビデオ(3 RCA)およびSCART用ケーブルを用意 Sビデオ入力 コンポジットビデオ入力(RCA×1)
オーディオコネクタ	ミニプラグオーディオ入力
コネクタ(オプション)	ネットワーク、USB、コンパクトフラッシュ対応スマート接続モジュール(オプション)

プロジェクタ仕様の説明 (続き)

赤外線受光部	プロジェクタの左右両側各 1
サイズ	197 mm × 78 mm × 231 mm
質量	1.7 kg
レンズ	投影比2.02:1.68(距離/幅)
光学ズーム	1.2:1
デジタルズーム	あり
キーストーン	キーストーン補正: 垂直方向 ±30° まで マニュアル補正: 垂直方向 ±30° まで 水平方向 ±12° まで
オーディオ	2W ピークサウンド
ランプ	180 W P-VIPランプ、1.1 mmアーク 寿命2000時間 ランプセーバモードではランプ電力を156 Wまで削減するため、 定格寿命が最大3000時間に延びます。 交換用ランプ: L1621A
ライトエンジン	0.7 12° DDR DMD XGA
カラーシステム	2種類のプリセットカラーモードを用意: ビジネスグラフィックス シアタービデオ
リモコン	レーザポインタ搭載USBマウス
設置方法	天井/卓上/三脚設置、前面および背面投影
セキュリティ	ケンジントンロック使用可能
電源	100~240 V、50~60 Hz.

プロジェクタ仕様の説明 (続き)

騒音レベル	37 dBA
-------	--------

環境**稼動時:**

温度: 10 ~ 35°C

湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと

高度: 3,000m、25°Cまで

保管時:

温度: -20 ~ 55°C

湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと

高度: 12,000 mまで

アナログビデオモード互換性

互換性	表示解像度	垂直同期周波数(Hz)	水平同期周波数(kHz)
VGA	640 × 350	70	31.5
	640 × 350	85	37.9
	640 × 400	85	37.9
	640 × 480	60	31.5
	640 × 480	72	37.9
	640 × 480	75	37.5
	640 × 480	85	43.3
	720 × 400	70	31.5
	720 × 400	85	37.9
	720 × 400	85	37.9
SVGA	800 × 600	56	35.2
	800 × 600	60	37.9
	800 × 600	72	48.1
	800 × 600	75	46.9
	800 × 600	85	53.7
XGA	1024 × 768	60	48.4
	1024 × 768	70	56.5
	1024 × 768	75	60.0
	1024 × 768	85	68.7
SXGA	1280 × 1024	60	63.98
	1280 × 1024	75	79.98
SXGA+	1400 × 1050	60	63.98
MAC LC 13	640 × 480	66.66	34.98
MAC II 13	640 × 480	66.68	35

アナログビデオモード互換性 (続き)

互換性	表示解像度	垂直同期周波数(Hz)	水平同期周波数(kHz)
MAC 16	832 × 624	74.55	49.725
MAC 19	1024 × 768	75	60.24
MAC	1152 × 870	75.06	68.68
MAC G4	640 × 480	60	31.35
MAC G4	640 × 480	120	68.03
MAC G4	1024 × 768	120	97.09
i Mac DV	640 × 480	117	60
i Mac DV	800 × 600	95	60
i Mac DV	1024 × 768	75	60
i Mac DV	1152 × 870	75	68.49
i Mac DV	1280 × 960	75	75
i Mac DV	1280 × 1024	75	90.9

デジタルビデオモード互換性

互換性	表示解像度	垂直同期周波数(Hz)	水平同期周波数(kHz)
VGA	640 × 350	70	31.5
	640 × 350	85	37.9
	640 × 400	85	37.9
	640 × 480	60	31.5
	640 × 480	72	37.9
	640 × 480	75	37.5
	640 × 480	85	43.3
	720 × 400	70	31.5
	720 × 400	85	37.9
	720 × 400	85	37.9
SVGA	800 × 600	56	35.2
	800 × 600	60	37.9
	800 × 600	72	48.1
	800 × 600	75	46.9
	800 × 600	85	53.7
XGA	1024 × 768	60	48.4
	1024 × 768	70	56.5
	1024 × 768	75	60.0
SXGA	1280 × 1024	60	63.98

安全情報

安全上の注意



警告: ケガを未然に防ぐため、以下の注意事項をお守りください。

- 目の損傷防止のため、ランプが点灯しているあいだは、レンズを直接のぞかないでください。
- 感電防止のため、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。マニュアルで指示されている場合を除き、プロジェクタのケースを開けないでください。
- 火災や感電防止のため、プロジェクタ内部に小さな金属物が入らないようにしてください。プロジェクタは必ず保護用のケースに入れて持ち運び、ペーパークリップなどの小物を同じケースに入れないでください。
- マニュアルの指示でカバーを外し、内部コンポーネントに触る場合は、プロジェクタの温度が下がるまでお待ちください。
- 火災防止のため、プロジェクタのレンズの周囲に紙類などの可燃物を置かないでください。
- 製品ラベルに記載された電圧および電流定格に適合する電源コードのみを使用してください。コンセントや延長コードに負荷をかけすぎないでください。

レーザーの安全性

リモコンのレーザーポインタは、米国保健福祉省のRadiation Performance Standardおよび国際標準IEC 825/IEC 825-1(EN60825/EN60825-1)に基づいて、クラス2レーザー機器に認定されています。この機器は無害とされていますが、以下の注意事項を守ることを推奨します。

- 説明書をよく読んで正しい使用法を守ってください。
- 機器の修理が必要な場合は、HPの正規サービスセンターにご依頼ください。
- 機器の調整はいっさい行わないでください。
- レーザ光線を人に直接当てることは避けてください。

LEDの安全性

デジタルプロジェクタとリモコンの赤外線ポートは、国際標準IEC 825-1(EN60825-1)に基づいて、クラスI LED機器に分類されています。この機器は無害とされていますが、以下の注意事項を守ることを推奨します。

- 機器の修理が必要な場合は、HPの正規サービスセンターにご依頼ください。
- 機器の調整はいっさい行わないでください。
- LEDの光線を目に直接当てることは避けてください。光線は目に見えないので注意してください。
- 何らかの光学機器を通して赤外線LEDの光線を見ることは避けてください。

水銀の安全性



警告: このデジタルプロジェクタのランプには、少量の水銀が含まれています。ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている可能性があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または電子工業会(<http://www.eiae.org>)にお問い合わせください。

規制情報

この項には、一部地域の規制にデジタルプロジェクタがどのように適合するかを記載します。HPの明示的な承認なしにデジタルプロジェクタを改変した場合、これらの地域でデジタルプロジェクタを使用する権利がなくなるおそれがあります。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際

規制に関する識別のため、製品には規制モデル番号が付与されています。お使いの製品の規制モデル番号は、「**declaration of conformity**」に記載されています。この規制番号は、販売上の名称や製品番号とは異なります。

DECLARATION OF CONFORMITY

According to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name:
Manufacturer's Address:

Hewlett Packard Company
Hewlett Packard Company
Digital Projection & Imaging
1000 NE Circle Blvd.
Corvallis, OR 97330-4239

Declares, that the product(s):

Product Name: Digital Projector
Model Number(s): mp3130/mp3135 series
Regulatory Model: CRVSB-03AP

Conforms to the following product specifications:

Safety: IEC 60950:1999/ EN 60950:2000

IEC 60825-1:1993 +A1 / EN 60825-1:1994 +A11 Class 1 LED
GB4943-1995

EMC: EN 55022: 1998 Class B [1]

CISPR 24:1997 / EN 55024: 1998
IEC 61000-3-2:1995 / EN 61000-3-2:2000
IEC 61000-3-3:1994 / EN 61000-3-3:1995+A1:2001
GB9254-1998

FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B/ANSI C63.4:1992
AS/NZS 3548:1995 Rules and Regulations of Class B

Supplementary information:

The product herewith complies with the requirements of following Directives and carries the CE marking accordingly:

-Low Voltage Directive: 73/23/EEC

-EMC Directive: 89/336/EEC

[1] The product was tested in a typical configuration with Hewlett Packard Personal Computer peripherals.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Corvallis, Oregon, September 1, 2003



Steve Brown, General Manager

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Straße 140, 71034 Boeblingen, Germany. (FAX: +49-7031-143143).

USA Contact: Hewlett Packard Co., Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304. Phone: (650) 857-1501.

L

LEDの安全性
注意事項 76

S

SCART接続
ビデオソースの接続 26

Sビデオ接続
ビデオソースの接続 23

あ

アクセサリ
リスト 15

アップグレード 51

アナログビデオモード
互換性 72

安全情報
LED 76
注意事項 75
レーザの安全性 75

オーディオ
調整 37

オフにする 28

オンスクリーンメニュー
オーディオメニューの説明 44
画像調整メニューの説明 42
クイックセレクトメニューの説明 40
使用方法 38, 39
セットアップメニューの説明 44
入力メニューの説明 41
バージョン情報メニューの説明 45

音声
オーディオを参照

オンにする 27

か

画像
調整 37

画像調整 37

画像の最適化 36

画像モード
説明 36
変更 32, 36

キーストーン補正
調整 35

距離
画像サイズに応じたセットアップ 16

グラフィックスモード
画像モードを参照

携帯端末
接続 22

言語
変更 37

ケンジントンロック 57

固定
ロック 57

コンポーネントビデオ接続
ビデオソースの接続 25

コンポジットビデオ接続
ビデオソースの接続 24

さ

三脚
取付け 53

シアタービデオモード
画像モードを参照

仕様

- プロジェクトの 69
- 焦点
 - 調整 30
 - 範囲 30
- 使用法 34
- 水銀 49
- ズーム
 - 調整 30
 - 範囲 30
- ステータス
 - プロジェクト 47
- 寸法
 - スクリーンと部屋 17
- 接続
 - バックパネルを参照
- 設置
 - 卓上設置を参照
 - 天井設置を参照
 - 背面投影を参照
- 設置場所
 - 卓上設置を参照
 - 天井設置を参照
 - 背面投影時の設置を参照
- 設定
 - オンスクリーンメニューを使用 39
- セットアップ
 - 卓上設置も参照
 - 調整 37
 - 天井設置も参照
 - 背面投影も参照
- ソース
 - 変更 34
- た
- 台形歪
 - キーストーン補正を参照
- 卓上設置
 - セットアップ 19
- テスト

- 診断 67
- 電源
 - オフにする 28
 - オンにする 27
- 天井設置
 - セットアップ 55
- トラブルシューティング
 - 音声の問題 65
 - 画像の問題 61
 - 始動時の問題 60
 - 停止の問題 65
 - ヒント 59
 - リモコンの問題 66

な

- 内容物
 - 箱の 8
- 入出力コネクタ
 - バックパネルを参照
- 入力ソースの接続
 - DVIポート付きコンピュータ 21
 - SCART接続 26
 - Sビデオで 23
 - VGAポート付きコンピュータ 20
 - 携帯端末 22
 - コンポーネントビデオ接続 25
 - コンポジットビデオ接続 24

は

- 背面投影用の設置
 - セットアップ 56
- バックパネル
 - 説明 12
- ビジネスグラフィックスモード
 - 画像モードを参照
- ビデオソース 23
- ビデオモード
 - 画像モードを参照
- 非表示ボタン 34
- ファームウェア

- アップデート 51
- プレゼンテーション
 - コンピュータから 33
 - ソースの変更 34
- プロジェクタ
 - アップグレード 51
 - 各部分の説明 10
 - セットアップ 16
 - 調整 35
 - トラブルシューティング 59
 - メンテナンス 47
- プロジェクタの投影位置の調整
 - 上げ下げ 29
- ボタン
 - プロジェクタ 11
 - リモコン 13

ま

- メニュー
 - オンスクリーンメニューを参照
- メンテナンス
 - 日常のメンテナンス 47

ら

- ライト
 - 説明 11
- ランプセーバーモード 37
- ランプモジュール
 - 交換 48
- リアパネル
 - バックパネルを参照
- リセット
 - 投影設定 64
 - プロジェクタ 28
- リモコン
 - カバーを閉じた状態の説明 13
 - カバーを開いた状態の説明 14
 - 使用法 31
 - 電池交換 50
- レーザの安全性
 - 注意事項 75
- レーザポインタ 31
- レンズ
 - お手入れ 47
 - 清掃 47
- ロック 57

